

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公開番号】特開2009-217399(P2009-217399A)

【公開日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2009-038

【出願番号】特願2008-58609(P2008-58609)

【国際特許分類】

G 08 B 21/10 (2006.01)

G 08 B 23/00 (2006.01)

G 08 B 25/00 (2006.01)

【F I】

G 08 B 21/10

G 08 B 23/00 510 A

G 08 B 25/00 510 M

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

災害の発生状況を観測する災害観測システムであって、

災害の発生を検知し、検知した災害を示す信号を、光線を用いて上空に送信する災害検知手段と、

前記災害検知手段が送信する信号を上空で撮影する災害観測手段と、

前記災害観測手段の撮影によって得られた画像データから前記光線が発射されている位置を特定し、該位置から送信されている信号が表す災害の種別を判定する災害解析手段とを含むことを特徴とする災害観測システム。

【請求項2】

前記災害検知手段は、

前記光線を照射する発光部と、

前記光線が上空へ向かって照射されるように前記発光部の向きを制御する姿勢制御部とを備えることを特徴とする請求項1に記載の災害観測システム。

【請求項3】

前記災害検知手段は、

検知され得る災害の種別毎にパルス長を記憶するパルス長記憶部と、

検知された災害の種別に応じて、前記パルス長記憶部に記憶された情報に基づいてパルス長を決定するパルス長決定部と、

前記パルス長決定部で決定されたパルス長の光線を照射する発光部とを備えることを特徴とする請求項1に記載の災害観測システム。

【請求項4】

前記パルス長決定部は、種別の異なる複数の災害が同時に検知された場合に、それぞれの災害の種別に対応するパルス長を前記パルス長記憶部から取得し、取得されたパルス長を合計したものを、前記複数の災害に対応するパルス長として決定することを特徴とする請求項3に記載の災害観測システム。

**【請求項 5】**

災害を検知した災害検知手段が、光線を用いて上空に送信した信号を上空で撮影して得られた画像データに基づいて、災害の発生状況を解析する災害解析プログラムであって、前記画像データから、前記光線が発射されている位置を検出する光源検出手順と、前記光源検出手順から送信されている信号が表す災害の種別を判定する災害種別解析手順とをコンピュータに実行させることを特徴とする災害解析プログラム。